

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	国語	現代の国語	2
教科書		補助教材		
高等学校 現代の国語(第一学習社)		現代文総演習標準編(いいずな書店)、頻出漢字マスター3000		
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
学習の評価	1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 授業時の質疑応答や教材の内容に関するレポート、振り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 3 授業中の諸活動や確認プリントなどで「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 上記1の評価に2・3を加味し、総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
文章の構成を考える 「『生きもの』として生きる」 論理とは何か 「〈表現編〉論理的な表現」 「羅生門」 論理を捉える 「『間』の感覚」 「水の東西」 何を伝えるか 「〈表現編〉話し方の工夫」 「砂に埋もれたル・コルビジエ」 スピーチをする 「〈表現編〉待遇表現・スピーチで自分を伝える」 文章を読み比べる1 「法律の改正にかかわる文章を読み比べる」		「読むこと」において、内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要点を把握している。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理展開を考えて文章の構成を工夫している。 「読むこと」において、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。 「話すこと・聞くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 「読むこと」において、文章や図表に含まれる情報を相互に関連づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。		
要旨を把握する 「日本語は世界をこのように捉える」 「ものとことば」 聞いて整理する 「無彩の色」 文章構成を工夫する 「『文化』としての科学」 構成を工夫して話す 「鏡」 伝えたいことを明確にする 「手作りプライバイシー」 「現代の『世論操作』」 論点を共有して話し合う 「フェアな競争」		「読むこと」において、内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要点を把握している。 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開を評価し、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるように、相手の反応を予想して論理展開を考えるなど、話の構成を工夫している。 「書くこと」において、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広めたり深めたりしながら、表現や進行の仕方を工夫している。		
資料を読み比べる 「日本の労働問題に関わる資料を読み比べ」 根拠を示して書く 「不均衡な時間」 文章を読み比べる2 「ロビンソン的人間と自然」		「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかを確認し、文章全体を整えたり、読み手の助言を踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示しかたや説明や表現の仕方を考えたり工夫したりしている。 「読むこと」において、文章に含まれる情報を関連づけながら、文章の構成や論理展開などについて評価しようとしている。		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	国語	言語文化	3
教科書		補助教材		
高等学校 言語文化(第一学習社)		完全マスター古典文法(第一学習社) 新明説漢文(尚文出版) 基礎古文(尚文出版) 基礎漢文(尚文出版)		
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもたうとしている。	
学習の評価	1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 教材の内容に関するレポートや振り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 3 授業の活動や確認プリントなどで「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 上記1の評価に2・3を加味し、総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
古文入門 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。		
歌物語 「伊勢物語」		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。		
言語活動 折句を用いて短歌を作る		「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。		
随筆 「枕草子」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
漢文入門 漢文に親しむ		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。		
故事成語 「漁夫之利」 「狐借虎威」 「蛇足」		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 漢文を読むために必要な訓読のきまりや特有の表現などについて理解を深めている。		
近現代の詩歌を読む 近現代の詩歌		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		
古典と関わる小説を読む 副教材		「読むこと」において、文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。		
日記 「土佐日記」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
随筆 「徒然草」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
軍記物語 「平家物語」		「読むこと」において、和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。		
史伝 「完璧」 「先従隗始」 「臥薪嘗胆」		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。		
漢詩 「唐詩の世界」 漢詩のきまり 漢詩を作る		「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。		
思想 「論語」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
近現代の詩歌を読む 短歌・俳句		「読むこと」において、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		
古典と近代 副教材		「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		
古典の詩歌 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」		「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 和歌の特徴的な表現の技法とその効果について理解している。		
言語活動 古典の和歌を現代の言葉で置き換える		「書くこと」において、適切な題材を決め、内容を吟味して、表現したいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の思いが効果的に伝わるよう、文体、描写、語句などを工夫している。		
文章 「桃花源記」		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。		
伝統と文化 「祭りの笛」		「書くこと」において、適切な題材を決め、内容を吟味して、表現したいことを明確にしている。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。		
古典と近代 副教材		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科 理数科学科 人文社会科学科	2	国語	古典探究	3
教科書		補助教材		
高等学校古典探究 古文編(第一学習社) 高等学校古典探究 漢文編(第一学習社)		完全マスター古典文法(第一学習社) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店) 必携新明説漢文(尚文出版)		
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めることが出来るようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
学習の評価	1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 授業時の質疑応答や教材の内容に関するレポート、振り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 3 授業中の諸活動や確認プリントなどで「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 上記1の評価に2・3を加味し、総合的に評価する。			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
説話 古今著聞集 沙石集 故事・寓話		<ul style="list-style-type: none"> ・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人について考えを深める。 ・著名な和歌をふまえた話を読み、語り伝えようとしたことを読み解く。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 		
随筆(一) 徒然草		<ul style="list-style-type: none"> ・争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事情に向けた批評の目を通して、ものの味方や考え方を深める。 		
方丈記 古代の史話 名家の文章 物語(一) 伊勢物語		<ul style="list-style-type: none"> ・時代の転換期に抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治のあり方について理解を深める。 ・本文の展開を的確に捉え、作者のものの見方考え方について理解を深める。 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 		
大和物語 随筆(二) 枕草子 項羽と劉邦 (史記) 物語(二) 源氏物語 大鏡 漢詩の鑑賞 不思議な世界 日記 蜻蛉日記 和泉式部日記		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌のよまれた事情を語る、散文性や叙情性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 ・内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人間像について考察を深める。 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・歴史物語という実際の歴史に取材した物語を読み、権力者の姿の一端に触れる。 ・漢詩の表現技法へ理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・話の不思議さを味わい、当時の人々の豊かな想像力と社会状況の一端を捉えることができる。 ・女性日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・自身の経験を三人称的視点で捉えた日記の特徴を理解しつつ、物語ふう語り語られる恋を追体験する。 		
紫式部日記 更級日記 物語(三) 平家物語 儒家の思想 逸話 和歌・俳諧		<ul style="list-style-type: none"> ・後宮に仕えていたときの日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 ・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・諸家の思想を読み、古代中国思想について理解を深める。 ・我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、和歌を鑑賞する。 ・近世の俳諧の特色を理解し、時代を追って作品を鑑賞する。 		

令和5年度 教育計画(シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数
普通科(文系) 人文社会科学科	2	国語	国語探究	3
教科書		補助教材		
高等学校 論理国語(第一学習社) 文学国語(数研出版)		改訂版現代文キーワード読解(Z会) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)		
到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、想像的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、想像的に考える力を養い、他者と関わりの中で伝えある力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	
学習の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期考査や課題の提出で「知識・技能」を評価する。 2 教材の内容に関するレポートや振り返りシートなどで「思考・判断・表現」を評価する。 3 授業の活動や確認プリントなどで「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 <p>上記1の評価に2・3を加味し、総合的に評価する。</p>			
学習内容(単元・項目)		学習到達目標(評価規準)		
評論(一) 「自明性の畏」からの解放 自他の「間合い」 小説 鍋セット 小説(一) 山月記 評論(二) 「私」中心の日本語 日本人の「自然」		<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論理を明確にし、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方を深める。 ・人物・情景・心情の描写などを的確に捉える。 ・具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、問題意識や意図を理解する。 ・筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、問題意識や意図を理解する。 		
評論(三) 手の変幻 小説 ナイン 評論(三) 越境する動物がもたらす贈り物 小説(二) ころろ 評論(四) 働かないアリに意義がある AI時代の社会と法 詩 言語活動 文学のふるさと 実用的な文章		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の感性を理解し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価し、内容を理解する。 ・筆者の主張とそれを支える根拠の関係に着目して理解する。 ・小説を自己の問題として捉え直し、人間の「生」の意味と意義を考える。 ・自然から人間社会の問題点へ展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・人工知能の発展がもたらす社会と法の関係の変化を把握し、今日的な問題意識を持つ。 ・近現代の詩の技法に親しむとともに、想像力を豊かにする。 ・自ら創作する契機とし、言葉に対する感受性を磨くことができる。 ・現代社会の一側面について理解を深めることができる。 		
評論(五) なぜ多様性が必要か 小説 山椒魚 評論(六) コミュニティ空間としての都市		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について考察する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・情報分析に基づく論理展開と対比構造を把握し、将来の社会のあり方を考える。 		

令和5年度 教育計画 (シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数	
普通科・理数科学科・人文社会科学科	3	国語	現代文B	3・2	
教科書	補助教材				
高等学校改訂版現代文B (第一学習社)	現代文キーワード読解 頻出漢字マスター3000(尚文出版)				
到達目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することにより人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
	日本語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えを、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	自分の考えを深めたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立つための文法、語彙、語句、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
学習の評価	1 定期考査で③「書く能力」、④「読む能力」、⑤「知識・理解」を評価する。 2 課題の提出状況及び確認プリント・テストで①「関心・意欲・態度」を、授業中の質疑応答で②「話す・聞く能力」を評価する。 3 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。				
学習内容(単元・項目)	学習到達目標(評価規準)				
未来世代への責任(評論) 檸檬(小説)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文章に即して的確に読み取ることができる。 ・経済学と環境問題についての文章を読み、思索を深めることができる。 ・小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉えることができる。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を涵養できる。 				
言語が見せる世界(評論) リスク社会とは何か(評論) 枯野抄(小説)	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、筆者の問題提起を踏まえたうえで、文章全体の構成に留意しながら主張を的確に理解できる。 ・段落ごとの関係、同義表現、対比的表現などに注意して読解する技術に習熟する。 ・小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉えることができる。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を涵養できる。 				
目に見える制度と見えない制度(評論) コスモポリタニズムの可能性(評論) 幼なじみたち	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な語句や概念的な表現を正確に把握できる。 ・例示を参考にしながら、抽象的な概念を理解できる。 ・小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉えることができる。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を涵養できる。 				

令和5年度 教育計画 (シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数	
普通科・理数科学科	3	国語	古典B	3	
教科書	補助教材				
高等学校改訂版古典B 古文編・漢文編 (第一学習社)	新版五訂完全マスター古典文法(第一学習社) Look@古文単語337(京都書房) 新明説漢文(尚文出版) 常用国語便覧(浜島書店)				
到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
	古典に対する関心を深め、辞書などを積極的に活用して、進んで理解したり味わったりする。	古典特有の調子を味わいながら音読したり聞いて味わったりする。また感じたことや考えたことを発表する。	古典を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめ、表現することができる。	表現上の特色を理解し優れた表現に親しみながら、様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	古典理解に必要な語彙・文語文法・修辞法・句法・古典常識などの知識を身に付けている。
学習の評価	1 定期考査で③「書く能力」、④「読む能力」、⑤「知識・理解」を評価する。 2 課題の提出状況及び確認プリント・テストで①「関心・意欲・態度」を、授業中の質疑応答で④「読む能力」を評価する。 3 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。				
学習内容(単元・項目)	学習到達目標(評価規準)				
古文 説話 今物語 古文 随筆 枕草子 古文 評論 俊頼髓脳 漢文 逸話	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				
古文 物語 源氏物語 古文 物語 堤中納言物語 漢文 古代の史話 漢文 史記の群像	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				
古文 物語 大鏡 古文 物語 増鏡 古文 物語 しのびね物語 古文 随筆 藤篋冊子 古文 評論 玉勝間 漢文 明代の文章 漢文 清代の文章	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				

令和5年度 教育計画 (シラバス)

学科名	学年	教科	科目	単位数	
人文社会科学科	3	人文社会	古典研究	3	
教科書	補助教材				
高等学校改訂版古典B 古文編・漢文編 (第一学習社)	新版五訂完全マスター古典文法(第一学習社) Look@古文単語337(京都書房) 新明説漢文(尚文出版) 常用国語便覧(浜島書店)				
到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。				
評価の観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
	古典に対する関心を深め、辞書などを積極的に活用して、進んで理解したり味わったりする。	古典特有の調子を味わいながら音読したり聞いて味わったりする。また感じたことや考えたことを発表する。	古典を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめ、表現することができる。	表現上の特色を理解し優れた表現に親しみながら、様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	古典理解に必要な語彙・文語文法・修辞法・句法・古典常識などの知識を身に付けている。
学習の評価	1 定期考査で③「書く能力」、④「読む能力」、⑤「知識・理解」を評価する。 2 課題の提出状況及び確認プリント・テストで①「関心・意欲・態度」を、授業中の質疑応答で④「読む能力」を評価する。 3 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。				
学習内容(単元・項目)	学習到達目標(評価規準)				
古文 説話 今物語 古文 随筆 枕草子 古文 評論 俊頼髓脳 漢文 逸話	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				
古文 物語 源氏物語 古文 物語 堤中納言物語 漢文 古代の史話 漢文 史記の群像	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				
古文 物語 大鏡 古文 物語 増鏡 古文 物語 しのびね物語 古文 随筆 藤篋冊子 古文 評論 玉勝間 漢文 明代の文章 漢文 清代の文章	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができる。 ・文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、文学のあり方や人生についての考えを深めるとともに、その考えを発表することができる。 ・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考えることができる。 				